

## 臨床研究についてのお知らせ

就実大学薬学部薬物治療学研究室及び薬学部附属薬局では、脳心血管疾患に対するセルフメディケーション（自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること）の方法の構築を目的とする研究を行っています。以下に記載する本研究について、内容を詳しく知りたい方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。また、本研究にご協力いただけない場合には、結果の発表前であればいつでも対応いたします。遠慮なくお申し出ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、または既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

### 【研究課題名】

非侵襲的手法による血管病変に着目した脳心血管疾患の個別化セルフメディケーションの構築

### 【研究の背景・目的および意義】

血管の病変が主な原因で発症する脳心血管系疾患は、国民の死因第2位であり、高齢化が進む社会において早急に対策が必要と考えられています。しかし、血管の病変に注目した脳心血管系疾患の発症や増悪の予防に繋がられるセルフメディケーションの方法は未だ確立されていません。

そこで、本研究では、皮膚の下の血管に蓄積している血管内皮細胞の機能を障害する物質（終末糖化産物）の指標である皮膚の自家蛍光（skin autofluorescence: SAF）、末梢血管の硬さの新しい指標（Arterial velocity pulse index: AVI）、及び中心動脈の血管の硬さを表し全身の血液循環の状態を示す指標（Arterial pressure-volume index: API）について非侵襲的に評価する事で、脳心血管系の発症及び重症化予防のためのセルフメディケーションとして有用であるかを調べる事を目的としています。

### 【意義】

高齢化が進む日本社会では、更なる脳心血管系疾患の発生率が高くなる事が予想されます。本研究により、非侵襲的な医療機器を用いた血管の病変の評価が、脳心血管疾患に対するセルフメディケーションで有用である事が明らかにできれば、どなたでも自身の血管の病変の度合いを把握し、医療機関への受診や積極的な検診による早期発見や重症化予防に繋がられる可能性があります。

### 【研究対象者】

就実大学薬学部附属薬局でSAF、AVI、及びAPI全てまたはいずれか1つを測定した18歳以上の来局された方が対象となります。

### 【研究期間】

2023年8月1日～2026年7月30日

## 【研究方法】

本薬局の薬歴管理簿に記載されている情報（処方箋に記載されている内容及び問診内容を含む）、健康アドバイス業務で作成した資料より収集致します。また、血圧、脈拍、AVI、API、及び血管年齢はいずれも医用電子血圧計 AVE-2000 Plus（株式会社至成データム、日本）で非侵襲的に凡そ1分半~2分間で測定致します。更に、SAF及び血管の糖化年齢はAGE Reader mu(Diagnoptics Technologies B.V.社、オランダ)を用いて非侵襲的に12秒間で測定します。

なお、本研究は文部科学省、厚生労働省、及び経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、就実大学・就実短期大学の教育・研究倫理安全委員会の承認を受けて実施しています。

## 【使用する情報】

- ・薬局薬剤師業務で得られる臨床情報（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、併存疾患、既往歴、服用している薬剤、問診票の内容、処方せん記載事項及び処方箋に記載されている検査項目等）
- ・医用電子血圧計 AVE-2000 Plus（非侵襲的な健康測定器）による検査で得られる結果（脈拍、API、AVI、及び血管年齢等）。
- ・AGE Reader mu（非侵襲的な健康測定器）による検査で得られる結果（SAF、及び血管の糖化年齢等）

## 【情報の保存】

本研究で、研究対象者から取得された情報は、研究終了後も論文作成やデータ確認、及び二次利用の可能性がありますので、施錠可能な場所（就実大学薬学部附属薬局及び薬物治療学教室）で保管致します。保管している情報を他の研究の用いる場合は、改めて本学教育・研究倫理安全審査委員会にて承認を得る事とします。研究等の実施に係わる重要な文書（申請書類の控え、学長からの通知文書、各種申請書・報告書の控え等）についても、研究の中止または研究終了後も二次利用の可能性があるため、その際の再確認及び参考資料として施錠可能な場所（就実大学薬学部附属薬局及び薬物治療学教室）で保存致します。

また、本研究は本学のみで実施するため外部への情報の提供は行いません。ただし、近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。その際には、個人を完全に特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人が特定されることはありません。

## 【お問い合わせ先】

就実大学薬学部 薬物治療学研究室 出石 恭久  
〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1  
TEL 086-271-8111（代表）

## 【研究実施体制】

研究責任者：就実大学薬学部 講師 出石恭久  
研究分担者：就実大学薬学部 教授 北村佳久  
研究分担者：就実大学薬学部 教授、就実大学薬学部附属薬局長 島田憲一  
研究分担者：就実大学薬学部 准教授 田坂祐一

研究分担者：就実大学薬学部 助教，就実大学薬学部附属薬局 薬剤師 吉井圭佑

研究分担者：就実大学薬学部附属薬局 管理薬剤師 松本かおり

研究協力者：就実大学薬学部附属薬局 薬剤師 柴田隆司

研究協力者：就実大学薬学部附属薬局 薬剤師 西山典子